



株主通信

第41期 中間報告書

平成27年7月1日 ▶ 平成27年12月31日

I-O DATA DEVICE, INC.

証券コード：6916

進化する明日へ Continue thinking

I-O DATA

ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り有難く厚く御礼申し上げます。

ここに、当社グループの第41期上半期（平成27年7月1日から平成27年12月31日まで）の営業の概況等についてご報告申し上げます。なお、当社は平成28年1月10日に創業40周年を迎えるに至り、また平成28年2月5日には当社株式が東証第一部銘柄に指定されました。これもひとえに、株主の皆様からの温かいご支援の賜物であると心より感謝申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年3月

代表取締役社長

細野 昭雄

営業の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一部の企業収益や雇用環境の改善が進む一方、個人消費は足踏み状態が続きました。また、中国を中心とした新興国経済の景気減速が鮮明となり、景気の先行き不透明感は高まりました。

当社グループに関するパソコンや家電、スマートデバイス等のデジタル機器の市場では、新モデルの発売等によりスマートフォン関連分野は堅調に推移しましたが、Windows XPの更新需要の反動が残るパソコンやTV関連市場は低調に推移しました。

このような状況の下、当社グループは、高度化する情報技術と実社会の調和を目指して、魅力的な商品・サービスの拡充を加速し、一層きめ細かく需要の取り込みと新市場の創造に努めました。

売上高については、パソコンやTV関連分野の不振を市場シェアの獲得やスマートデバイス向けの新提案、近年増強を進めてきた自社ラインナップを補完するグローバルブランド商品が補い増収となりました。利益面につきましては、前年同期に比べ円安が進行している影響から売上総利益は減少し、営業利益以下の利益項目は前年同期の実績を下回りました。

以上により、当第2四半期連結累計期間の売上高は217億41百万円（前年同期比5.0%増）、営業利益は3億25百万円（前年同期比54.1%減）となりました。経常利益は営業外収益に為替差益1億42百万円を計上した影響から4億97百万円（前年同期比36.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億33百万円（前年同期比27.9%減）となりました。

※ 当社は第1四半期連結累計期間より、「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号平成25年9月13日）等を適用し、「四半期純利益」を「親会社株主に帰属する四半期純利益」としております。

部門別 営業の概況

■メモリ

当第2四半期連結累計期間において、メモリモジュールはインターネット通販チャネルを中心におすすめの拡販に押され、売上高は前年同期の実績を下回りました。また、メモリカードやUSBメモリ等のフラッシュメモリについても、前年同期に採用が進んだ低価格品の大口案件が伸び悩み、売上高は前年同期の実績を下回りました。



■ストレージ

主力のハードディスクは、前年同期に低下したマーケットシェアの回復を図り、売上高は前年同期の実績を上回りました。

光ディスクドライブも、音楽CDを直接スマートフォンやタブレットに取り込むことができる「CDレコ」シリーズの新展開として、DVDビデオを直接スマートデバイスで視聴することができる「DVDミレル」を発売開始したことにより、売上高は前年同期の実績を上回りました。



■液晶

平成26年4月のWindows XPパソコンの更新需要の一巡により冷え込む中、ユーザー層・機能・サイズに応じたラインアップの充実と拡販を通じてマーケットシェアの維持拡大に努めましたが、売上高は前年同期の実績にわずかに及びませんでした。当第2四半期連結累計期間では、超解像技術を搭載した「GigaCrysta（ギガクリスタ）シリーズ」に上位モデル、4K対応モニターに40型大画面モデルを加えました。また、信頼の品質と実績の証として、お客様により安心して長くご利用いただけるよう保証期間を3年から5年に延長しました。



■周辺機器

無線LANやNAS等のネットワーク分野は、個人モデルの不振を企業向けが補いNASの売上は安定して推移しましたが、LAN関連機器の不振により減収となりました。地デジチューナーを中心とした映像関連分野は、自宅で受信したTV放送や録画番組を場所・視聴機器に縛られることなく自由に楽しむことができる新世代TVチューナー「REC-ON（HVTR-BCTX3）」の発売により、テレビやスマートデバイス向けは増収となりましたが、PC増設用の不振が響き減収となりました。

当部門の新たな取り組みとして、ハイレゾ音源を楽しむネットワークオーディオの普及に合わせて、音質にこだわるユーザーのための新ブランド『fidata（フィデータ）』を立ち上げ、ネットワークオーディオサーバー2機種の発売を開始しました。



■特注製品

デジタル家電関連や通信事業者向けのOEM、特注製品の販売を主とする当部門は、大口案件の獲得が進まず、売上高は前年同期の実績を下回りました。



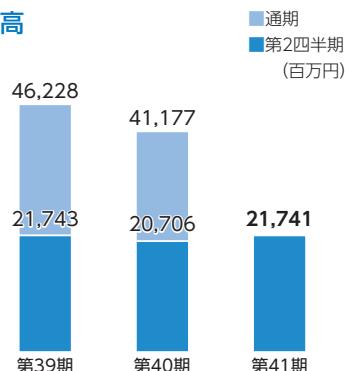
■商品およびその他

自社のラインナップを補完する他社ブランド商品の販売を主とする当部門では、主力のサムスン電子製SSD、光ディスクメディアを中心とするVerbatim®（バーベイタム）商品の販売が伸張した他、ストレージ業界のリーディングカンパニーである米国WD製ハードディスク関連商品の販売本格化、米国インテル製の手のひらサイズのスティック型パソコンの販売開始により、売上高は前年同期の実績を上回りました。

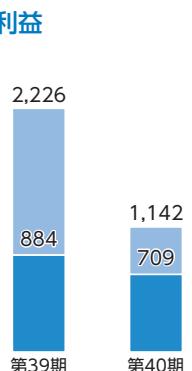


連結決算ハイライト

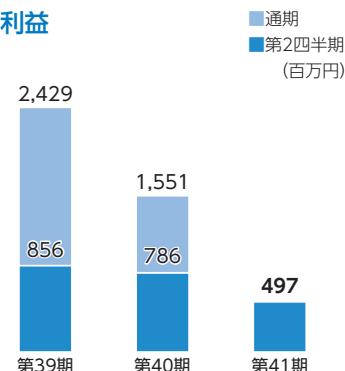
売上高



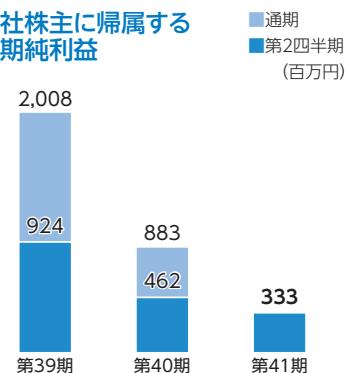
営業利益



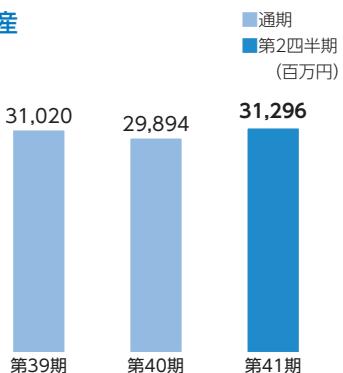
経常利益



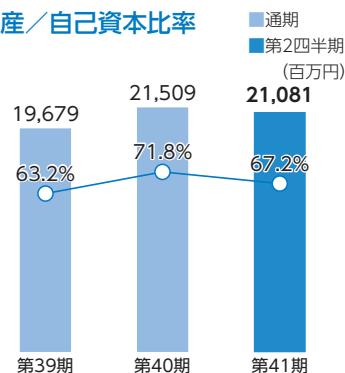
親会社株主に帰属する四半期純利益



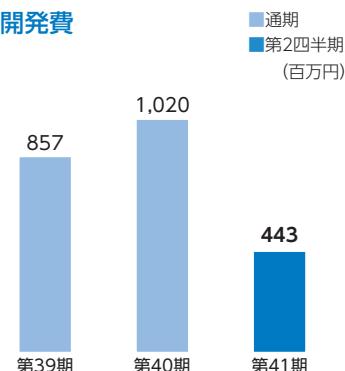
総資産



純資産／自己資本比率



研究開発費



四半期連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (Billion yen) 平成27年7月1日～平成27年12月31日



第41期 通期業績予想

(平成28年2月10日発表)

売上高

440億円

経常利益

10億円

営業利益

8億円

親会社株主に
帰属する当期純利益

7億円

株式情報 (平成27年12月31日現在)

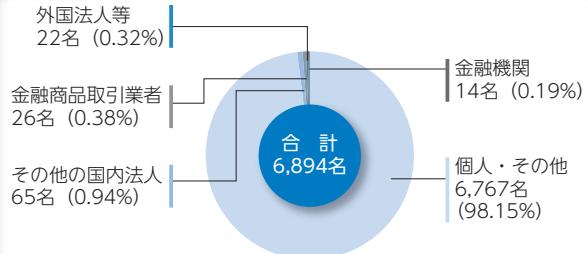
■株式の状況

発行可能株式総数	41,000,000株
発行済株式の総数	14,839,349株
1単元の株式の数	100株
株主数	6,894名

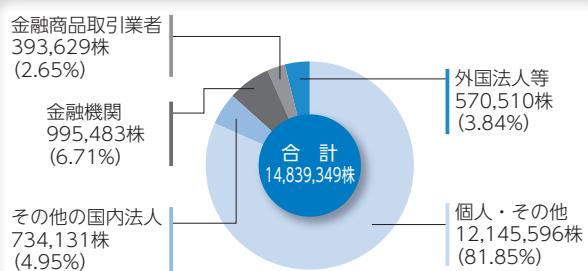
■大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
細野昭雄	4,514,643	30.42
株式会社アイ・オー・データ機器	1,946,716	13.11
細野幸江	763,780	5.14
株式会社北國銀行	306,662	2.06
有限会社トレント	269,675	1.81
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	202,800	1.36
三菱化学メディア株式会社	200,000	1.34

■所有者別株主数分布状況



■所有者別株式数分布状況



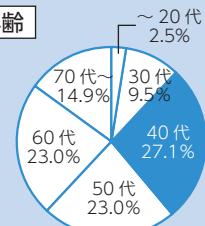
株主様アンケート集計結果

第40期株主通信での「株主様アンケート」にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。お寄せいただいた回答の集計結果についてご報告申し上げます。

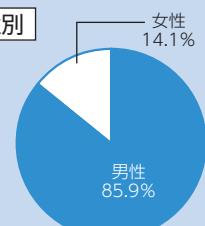
株主の皆様より頂戴した多くの貴重なご意見・ご要望・激励のお言葉を真摯に受け止め、様々な活動の充実・改善に取り組んでまいります。

ご回答いただいた株主様のプロフィール

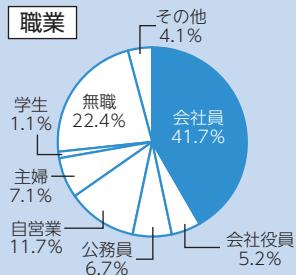
年齢



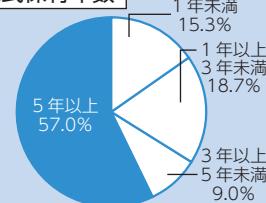
性別



職業



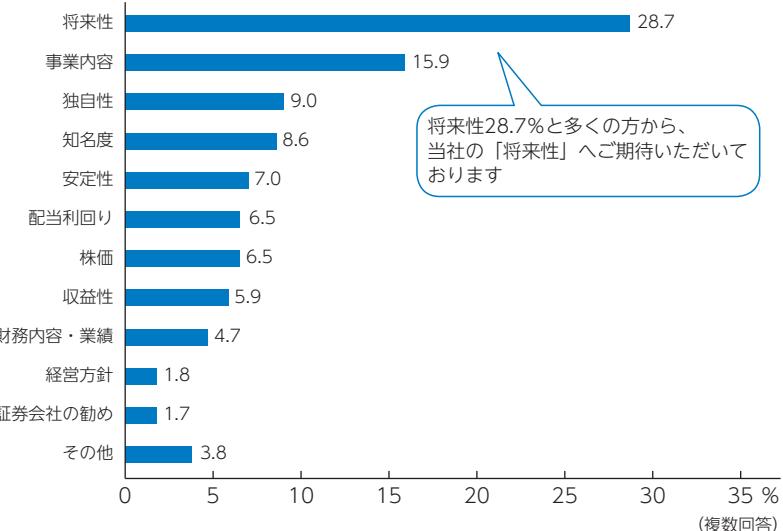
株式保有年数



■アンケート実施期間：平成27年9月26日～平成27年10月30日

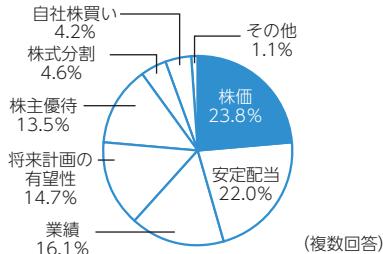
■回答者数：569通（回答率7.9%）

1 当社株式のご購入理由

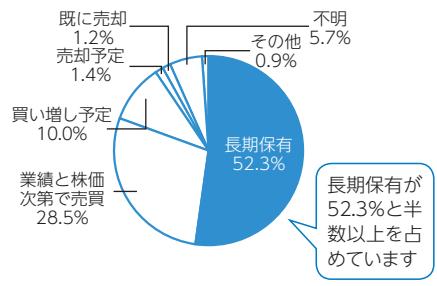


将来性28.7%と多くの方から、当社の「将来性」へご期待いただいております

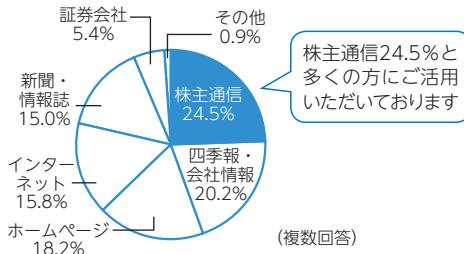
2 保有につながる判断材料



3 当社株式の保有方針



4 当社に関する情報入手手段



当社へのご意見・ご要望（一部抜粋）

製品開発について

- 日本の技術を活かした優れた壊れない製品を世の中に提供することを期待しています。
- 製品の隙間を埋める商品が、あまり見られなくなったと思います。その中にあっても、まだまだ商品化してくれるのではないかという期待を寄せています。
- 御社製品全般を愛用していますが、いずれも長期使用に耐え、品質の良さを実感しております。
- ハードウェアボタン型認証USBメモリは、OSに依存しないので素晴らしい製品だと感じました。

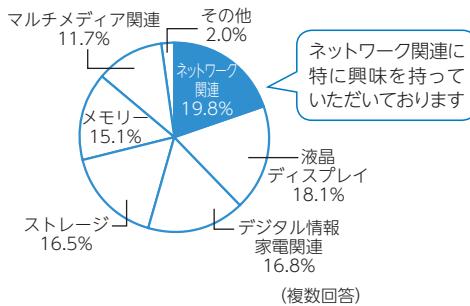
経営・業績について

- 北陸新幹線の開業で金沢は首都圏から身近になりました。地域活性化のためにも、現状通りの安定した経営方針にて地域経済を支えて下さればと存じます。
- 研究開発に投資するとともに、優秀な人材の確保を期待したい。

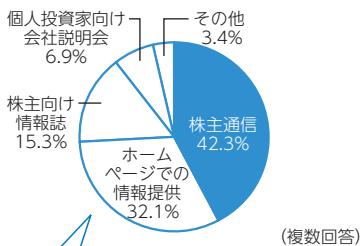
当社へのご要望・ご提案・激励

- 貴社製品のユーザーとして、今後の貴社の更なる発展を期待しています。しかし、貴社製品の優秀性、貴社の事業展開、財務内容等から、たいへん素晴らしい優良な法人であるにもかかわらず知名度が高くないよう思う。もう少し一般向け広報の拡大を期待しています。
- この「株主通信」のように洗練されてはいないけれど正直で実直なI・Oデータガンバレ！
- 株主を含めたステークホルダーにも「やさしい」企業であつてほしいです。御社に係わった人々が有意義であったと思える企業でありますように！

5 興味のあるパソコン周辺機器・デジタル家電



6 当社のIR活動について特に充実を希望すること



ご要望の特に多かった株主通信、ホームページの更なる充実を図ってまいります

会社の概要 (平成27年12月31日現在)

会社概要

商 号	株式会社アイ・オー・データ機器
I-O DATA DEVICE, INC.	
設 立	昭和51年1月10日
資 本 金	35億8,807万円

従業員数
438名(単体)
482名(連結)

役 員

代表取締役社長	細 池 雄
専務取締役	野 田 昭
常務取締役	池 游 信
◎取締役	濱 田 尚
常勤監査役	加 藤 则
*監査役	藤 启
*監査役	新 田 樹
*監査役	池 田 義
	谷 雅
	水 松 義
	松 木 雄
	中 村 浩
	村 和

(注) 社外取締役には◎印を、社外監査役には*印を付しております。

当社グループ



事業所

■本社(金沢市)	●子会社
■営業所	國際艾歐資訊股份有限公司
東京オフィス	艾歐資訊香港有限公司
大阪営業所	I-O DATA America, Inc.
札幌営業所	ITGマーケティング株式会社
仙台営業所	●関連会社
名古屋営業所	I-O & YT Pte. Ltd.
広島営業所	株式会社デジオン
福岡営業所	クリエイティブ・メディア株式会社

株主メモ

事 業 年 度	毎年7月1日から翌年6月30日まで
定時株主総会	毎年9月開催
基 準 日	定時株主総会 毎年 6 月 30 日 期末配当金 每年 6 月 30 日 中間配当金 每年12月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
公 告 方 法	電子公告により当社のホームページに掲載します。(http://www.iodata.jp/)ただし、やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
株主名簿管理人 同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料)
特別口座の口座管理機関 同 連 絡 先	三井住友信託銀行株式会社 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 TEL 0120-782-031 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部 ※平成28年2月5日に市場第二部より変更
証 券 コ ー ド	6916

ご注意

■住所変更、単元未満株式の買取・買増請求等の各種お手続きについて

原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。

口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。

株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできません。

■特別口座に記録された株式に関する各種お手続きについて

三井住友信託銀行が口座管理機関となっており、三井住友信託銀行にお問い合わせください。株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行では手続きできません。

株式会社 アイ・オー・データ機器

石川県金沢市桜田町三丁目10番地
URL http://www.iodata.jp/



環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用しています。



見やすく読みまちがえにくいユニークーバルデザインフォントを採用しています。

